

図書館と県民のつどい埼玉 2012



今年も、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。同時開催する《子ども読書活動交流集会》は、家庭・地域・学校・図書館で子どもの読書に関わる人たちの「つながり」と「学び」の場です。ふるってご参加ください。

日時 平成24年12月2日(日)

10:00~16:00

会場 さいたま文学館

(JR高崎線桶川駅徒歩5分)

申込 ①記念講演(先着順) / 電話・

インターネット 埼玉県立図書館で検索

②分科会(抽選) / 電話・

はがき・FAX(締切10月31日)

※詳細は、チラシや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

◆問い合わせ

県立浦和図書館「図書館のつどい」係
〒330-0063

さいたま市浦和区高砂3-1-22

電話: 048-829-2821

FAX: 048-829-2979

★★★講演会・分科会のご案内★★★

午前 (10:00~11:45)

記念講演 [定員500] 上橋菜穂子氏 「本との旅路」

午後 (13:30~15:30) 子ども読書活動交流集会

分科会1 [定員100] ブックトークって楽しい! -はじめの一步-

分科会2 [定員35] 音を楽しむ

-どうよむ・どうきく・オノマトペの絵本-

分科会3 [定員35] びっくりいっぱい! 植物のふしぎ

-かがく読み物を楽しもう-

分科会4 [定員30] 手をつなごう わらべうた

-“わらべうた”で子育てのお手伝い-

全日 大学・高校・公共図書館部会(展示)

◆ あなたの好奇心を刺激する!? 図書館イベントご紹介

◆ ブックケア 未来へつなげる保存の技術

◆ 大学図書館のお宝、お見せします

◆ Book & Bag & Cafe ◆ 高校図書館の様子(写真)

Shienくん ⑧

おはなしをきいていると



おいしそうだったり...



「3ひきのくま」のスーフ

ドキドキしたり...



「ちいさい、ちいさい」のホネ

たのしいんだよ!



読み聞かせ・ストーリーテリング

初心者向け研修会に講師を派遣します

(読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)

絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、

埼玉県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。

研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせ

ください。研修会開催の1か月前までにお申し込みください。

申込み方法・ご案内: 県立久喜図書館子ども読書推進担当 TEL: 0480(21)2659

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記

絵本と一緒に読み始め、児童書に泣き、新しいファンタジーにはまり、今時のティーン心をYA小説で学び、人気作家Iの作品を読破。一緒に楽しい時間は短いと思います。次は何を読みますか...私の読書遍歴は続く。(子ども読書支援ボランティア I)

編集発行 埼玉県立久喜図書館

子ども読書支援センター

協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ 「子ども読書支援サービス」

<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5

TEL 0480(21)2659 (代)

FAX 0480(21)2791



子ども読書支援情報誌

しえん

Shien 第14号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)する
そんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成24年9月1日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

【目次】

- EhonCafe~ここは出会いの場.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座⑭.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑭.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2012.....4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣.....4

EhonCafe ~ ここは、出会いの場

19年勤めた図書館を辞め、川越市内で絵本や関連グッズ販売のカフェ

を始めて7年が経ちました。この小さなお店が細々と続いているのも、

図書館員仲間や図書館時代からお世話になっている利用者の方々の応援のお陰、と日々有難さを実感しています。

お店では<児童文学サロン><おはなしの部屋><わらべうたの会><手づくりサロン>などの講座もやっている関係か、図書館員をはじめ、おはなしや読み聞かせなどのボランティアをされている方、学校の図書室で働いていらっしゃる方、保育士、先生、翻訳者、編集者...と多方面の方々が、県外からも来てくださいます。その方たちの様子を見てみると、みんなお知り合いなのかしら?と思うことがあるのですが、伺ってみると「このお店で出会いました!」と言ってくださることが多くなってきました。そうなることは、元々の希望でもあったので、とても嬉しい出来事です。いろいろな立場、分野、地域の方々との出会いは、日々抱えている悩みの解決や、新しい一歩へのヒント、てがかりに繋がっていくのではないのでしょうか。講座終了後は、みなさんとても良い顔をされていて、そんな様子を見られることが私の次への活力となっています。こんな時代だからこそ、同じ思いの人たちが繋がっていきたい。少し行き詰ってしまったら、試しに講座に参加してみませんか?嬉しい楽しいは結構続いていますよ(*^_^*)

片居木 薫 (EhonCafe イングリッシュ・ブルーベル店主)

〔問い合わせ〕049-290-2509 URL:<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~ehoncafe-englishbluebell/>

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑭

読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。今回は、「中学生への読み聞かせ」ってどんな様子? と思っている方のために、Q&Aで紹介します。



その1 活動内容って?

Q <<久喜中学校での読み聞かせ>>きっかけは?

A 平成20年12月、「子ども達の情緒・心を育てたい」という学校側の想いで始まり、今は「人の生き方・世界に目を向ける・心をひろげる」という想いもプラスして続いています。

Q ボランティアはどんな人たち?

A スタート時は、小学校で読み聞かせをしていた在校生の保護者が中心。現在は卒業生の保護者・地域の方も交えて18名で活動しています。

Q いつ、読んでいるの?

A 朝8:30~40の10分間です。

Q 回数はどれくらい?

A 学年によって違います。

(1年:月2回、2年:月1回、3年:隔月1回)

Q 教室に入ったときの子ども達の様子は?

A 椅子は後ろに、床に体育座りで待っています。小学校から聞いてきた子達なので慣れてしています。

Q 先生と一緒に聞いているの?

A はい。時には先生の方が感動していることも。

Q 読んだ本は、その後、どうしますか?

A 後で探せるように、タイトルを書いた紙を教室に貼って帰ります。

Q 小学校との一番の違いは?

A 素直な反応が少ないところ。でも表情からは、何か感じてくれたかな?と思います。

中学生、体は大きいし、見た目もちょっと...でもあいさつもちゃんとするし、面白い本なら声には出さずとも表情に出たり、よく聞いてくれます。少しでも心の中に温かいものが残ってくれたら嬉しいです。二橋和子(久喜中読み聞かせボランティア)

